

## 三方五湖での「自然再生協議会全国会議」



1

### 自然再生協議会全国会議について

○概 要:

地域で自然再生に取り組む、全国の自然再生協議会(全国に27協議会)構成  
員等が、その取組み状況について情報交換を実施し、参考となる事例や課題  
への対応等の共有を図るために、年に一度、協議会を有する地域で全国会議  
を実施

○日 時: 令和6年11月14日(木)~15日(金)

○場 所: 1日目…三方五湖(現地視察)  
2日目…敦賀商工会議所(室内会議) ※オンライン併用

○主 催: 環境省

○参加者数: 約90名 (※1日目、2日目の片方のみの参加者も含む)

○備 考: 三方五湖地域では、H26年度にも一度全国会議を開催

# 自然再生協議会全国会議 1日目（現地視察）行程

## ①久々子湖畔（浅場造成実施場所）

- ・シジミのなぎさ部会による浅場造成・整備の取組みの説明
- ・浅場造成による効果（環境・生物多様性）、シジミ資源量調査の状況など  
（説明者：県里山里海湖研究所 宮本研究員、美浜町産業政策課 野原参事、田辺義郎氏）

## ②レインボーライン山頂公園

- ・三方五湖周辺の地形、湖ごとの違いなど （説明者：自然環境課 小林）

## ③三方湖畔

- ・三方五湖での伝統漁法について  
（説明者：鳥浜漁業協同組合 田辺寛之氏、  
県中山間農業・畜産課 笹木主事、若狭町産業振興課 中村主査）

## ④自由時間…三方五湖自然観察棟、福井県年縞博物館など

※移動中のバス内で、三方五湖自然再生協議会の概要、自然護岸再生部会の取組み、水月湖での浅場造成なども説明

3

# 自然再生協議会全国会議 2日目（室内会議）内容

## ○三方五湖自然再生協議会 発表

- ・協議会の理念・目的、意義等について
- ・協議会の部会の活動概要紹介
- ・地元の研究者としての関わりや環境教育を通じた次世代の育成について  
およびそれらを踏まえたパネルディスカッション

## ○参加団体からの発表（河北潟自然再生協議会準備会）

## ○関係省庁からの活動報告（農林水産省・国土交通省・環境省）

## ○自然再生基本方針の見直し及び生物多様性増進活動促進法（環境省）

4

## ○三方五湖自然再生協議会 発表内容

- ・協議会の理念・目的、意義等について（説明者：鷺谷 いづみ会長）
- ・協議会の部会の活動概要紹介
  - ▼湖と田んぼのつながり再生部会（説明者：若狭町環境安全課 森口主事）
  - ▼外来生物等対策部会（説明者：若狭町環境安全課 田中主査）
  - ▼環境にやさしい農法部会（説明者：県里山里海湖研究所 武島研究員）
  - ▼環境教育部会（説明者：県海浜自然センター 別司主任）
  - ▼その他（商品・エコツアー等の開発・試行）（説明者：県自然環境課 小林）
- ・地元の研究者としての関わりや環境教育を通じた次世代の育成について  
およびそれらを踏まえたパネルディスカッション
  - ▼地元の研究者としての関わりについて（説明者：福井県立大学 富永 修氏）
  - ▼三方五湖子どもラムサールクラブについて（説明者：小嶋 明男氏、武田 真澄美氏）
  - ▼地域の学校での環境教育について（説明者：若狭町立三方小学校 谷保 裕子氏）

## <国の「自然再生協議会専門家会議」委員からのコメント（※抜粋）>

- ・協議会が知識と知恵の共有ということを図られており、それが非常に大きな効果を生んでいると感じた。
- ・地域の生態系全体を対象に取り組む事業なので、やはり外部から見ると少し理解が難しいと感じる。  
そこをいかに分かりやすく発信していくか、それが課題だと思う。
- ・三方五湖には水月湖の年縞があり、縄文時代からの人々の暮らしが続いている場所で、時間と空間の連続性が生物多様性を育んでいることを強く感じた。その時間と空間の連続性をつないでいる、あるいは今の人々をつないでいるのが、実は伝統知ではないかと思う。
- ・自然再生の知恵や技術というのは、伝統知がもとになっているものが、その地域に一番適した手法ではないかと感じた。
- ・いろんなプレイヤーがつながりを強く守って参加されているということに感銘を受けた。
- ・この協議会で実施されていることは、自然の恵みという観点と、やはり災いを避けるという点が含まれていると思う。
- ・流域治水も実は自然再生協議会のような活動と調和的な部分があるのではないかと感じる。  
流域全体を山から川や海まで良くしていくという流れを、将来的に作っていくと、とても発展性があるように感じる。